

令和7年10月14日

## 収穫祭 2025



令和7年9月27日（土）、知多市にある「この巣圃場」にて収穫祭（稲刈り）を実施いたしました。5月に実施した田植えに引き続き、今回も新入社員7名をはじめ、若手社員、ベテラン社員、さらには社員のご家族の皆様にもご参加いただき、世代や立場を越えた交流の場として、大変充実したひとときとなりました。収穫した稲は、後日、新入社員が精米・袋詰めを行い、全社員へ配布しました。

5月の田植えに始まり、草刈り、稲刈りを通じて、農業の大変さと収穫の喜びを体験することができました。準備から当日の運営まで、ご協力いただいた皆様に、この場を借りて心より御礼申し上げます。

## 新入社員の感想

農業体験を通じて、日本人の主食の「米」がどのように作られているのかを体験することができました。普段、当たり前のように口にしている米ですが、農家さんの協力があってこそ成り立っていることを肌で感じ、改めてそのありがたさを実感しました。田植え、草刈り、稲刈りといった一連の作業を、新社員同士で協力しながら取り組むことで、チームワークや団結力も自然と育まれました。稲が実るように、私たちの関係性にも「実り」が生まれたように感じています。(N.J)



↑ コンバインによる収穫に加えて、一部は手作業で稲刈りを行いました。

## 精米

収穫後、乾燥させた約 900 kgのお米を半日かけてコイン精米機で精米しました。機械に何度も米を投入し、袋を交換しながら、丁寧に作業を進めました。



秋の澄んだ空気の中で稲刈りを体験し、一粒一粒のお米に込められた農家の方々の努力を実感しました。稲を刈り取る作業は想像以上に大変で、日々の食卓に並ぶご飯がどれほど多くの手間と愛情によって支えられているのかを改めて感じました。農家の方々の汗と工夫が、日本の食文化を守っているのだと思うと、感謝の気持ちでいっぱいです。これからは一膳のご飯を、より大切に味わいたいと思いました。(O.A)

稲刈りは稲を刈るだけでなく、刈り終えた稲わらを集めて運ぶ作業もあり、田植えに比べて力仕事が多いと感じました。田んぼにはカエルやバッタ、トンボ、サギ、マムシなど様々な生き物がいて、生態系がしっかりと形成されていることを実感しました。汗をかきながらの作業は大変でしたが、参加していただいた皆さんと協力して進めることで達成感もありました。自分たちで収穫したお米を食べる日が待ち遠しいです。(M.K)



↑ 稲穂の収穫後、稲わらを広げて天日で乾燥させました。

5月に自分たちで植えた苗が、立派な稲穂に成長している姿を見て感動しました。田植えでは泥に足を取られながらの作業に苦勞しましたが、その分、収穫の喜びもひとしおでした。稲刈りでは、手作業に加えてコンバインによる刈取りも行われ、その速さと効率に圧倒されました。稲刈りを通じて、食の大切さと農家の方々への感謝の気持ちを実感しました。農業体験にご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。(T.S)

最初は手作業で少し稲を刈り、その後はコンバインを使って収穫を行いました。技術の進歩のおかげで、効率的に作業を進めることができ、現代農業の力を実感しました。しかし、今年の収穫量は期待ほどではなく、豊作とは言えない状況でした。この経験を通じて、農業の難しさを改めて感じました。品種の選定、栽培技術、そして天候など、さまざまな要因が収穫量に影響を与えることを学びました。困難を乗り越えて農産物を育て、私たちの食卓に届けてくれる農家の方々に、敬意を表したいと思います。彼らが安心して働ける環境を整えるためにも、私自身の能力を磨き、仕事に真剣に取り組んでいきたいと強く感じました。(P.J)

田植えから約4か月が経ち、無事に稔ったお米を収穫することができました。草刈り機の操作や手作業での稲刈りは想像以上に難しく、熟練が必要だと感じました。また、稲の生長に伴って変化する田んぼの風景の美しさを感じ、社員の皆様と収穫の喜びを分かち合えた体験は、農業に貢献したいという気持ちをさらに高めてくれました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。(A.A)

## 袋 詰 め

米袋のパッケージデザインも新入社員が考えました。袋詰めは2.5kgずつ、ひとつひとつ手作業で行い、心を込めて準備しました。本社では、袋詰めしたお米を、社員一人ひとりに直接手渡しました。



今回の農業体験では、田植え・草刈り・稲刈りを体験し、普段何気なく食べているお米が、どれほど多くの手間と時間をかけて育てられているのかを実感しました。自分の携わる仕事が、このような農業生産の基盤を支えていると考え、これまで以上に誇りを持って取り組むことができると感じました。農業体験にご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。（O.Y）



↑ 支社および各支店・事務所で働いているすべてのの方々に、お米をお届けしました。



編集：令和7年新入社員